

## 小規模特別養護老人ホーム 昂

### 平成 30 年度事業報告書

#### 1. 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

区分 \ 職名	施設長	管理者	介護支援専門員	生活相談員	医師	看護師	機能訓練指導員	介護職員	栄養士(管理)	事務員	環境整備員	合計
基準定数 ...①	1	1	1	1	(1)	1	1	10	1			17
正規職員の配置 ...②	1	1	1	3		1	1	17	1			26
正規職員以外の配置 ...③					(1)			7		1	1	9
現員計 ②+③=④	1	1	1	3	(1)	1	1	24	1	1	1	35

※ 基準定数は、人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。

#### 2. 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)

	男性	女性	計
入居者数	2人 (1人)	7人 (0人)	9人 (1人)
退居者数 (亡くなった方を含む)	3人 (1人)	10人 (0人)	13人 (1人)
年度末現在の入居者在籍数	7人 (0人)	19人 (0人)	26人 (0人)

( ) は、短期入所利用者数を示す。

#### ◎月別入居者延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	860	899	842	881	895	845	898	826	837	844	751	834	10,212
空床 SS	0	0	0	0	0	0	0	0	16	12	0	0	28
合計	860	899	842	881	895	845	898	826	853	856	751	834	10,240

### 3. 利用者処遇の充実の状況

#### (1) ケアカンファレンス実施状況

(当該年度 3月31日現在)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	臨時			
運営会議	1 2	0	第1水曜	○・無	施設長・CM・介護係長・各ユニットリーダー・看護師・管理栄養士・生活相談員
ケース会議	1 5 3	2 2	随時		CM・居室担当またはユニットリーダー・看護師・栄養士・機能訓練指導員・生活相談員
入所判定会議	1 2	1	第1水曜		運営会議に同じ
職員全体会議	1 2	0	第3水曜		全職員

#### (2) 機能訓練実施状況

- ・個別機能訓練 下肢筋力トレーニング 毎日 6名  
 歩行訓練等(平行棒)：随時実施 2名  
 歩行訓練(ユニット内)：毎日3名  
 関節可動域訓練：週1～2回実施 3名 週5回～毎日 2名  
 下肢マッサージ等：毎日実施 2名  
 嚥下機能訓練(嚥下マッサージ)：毎日実施1名  
 立位訓練 毎日3名
- ・生活上機能訓練  
 作業レク(折り紙・塗り絵・書字等)：随時  
 トイレ内動作訓練(立位保持等)：毎日17名  
 洗濯物たたみ・箱折等：毎日実施6名、
- ・その他 歯磨き・更衣等の日常生活関連動作の促し：毎日18名

#### (3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

- ・施設としてどのような体制(例：責任者の設置等)を整備しているか。  
 →苦情受付の担当者を定め、虐待(の疑い)があった場合には、口頭又は施設内に4か所の苦情受付箱を設置し投書ができるように体制を整えている。  
 第三者委員を含めた苦情相談窓口の掲示も行っている。
- ・施設としてどのような取り組み(例：研修の実施、掲示等)を行っているか。  
 →平成30年度、法人全体として身体拘束・虐待防止の研修を開催し、虐待に対する意識を高めた。また、運営会議メンバーにて虐待防止委員会を年に2回開催し、行っている介護が不適切ケアに該当するかどうかのアンケートを実施し、その結果を職員全体会議で発表し話し合った。例えば、食事介助時本人が食べたくないとのサインがあった場合に良かれと思ってやっていることが、実は不適切ケアであり、虐待にもつながるということがわかった。以降は本人の意思を尊重しながら食事介助を行っている。言葉遣いも時々、愛称で呼んだり、「ちゃんづけ」や「呼びすて」も不適切ケアになる為、職員同士で注意喚起するようになった。

2年前に実施したアンケートの時よりも、職員間でのコミュニケーションがとれていると思うと答えた職員が10%以上増加していることは、離職者があまりいない要因ともいえるかもしれない。

世間では、離職者が増加傾向の現在、職員間のコミュニケーションが良好であるということは重要である。今後も職員間の人間関係を良好にすることが、人材が育つ職場風土となることができる。

(4) 嘱託医師の回診の状況

週1回水曜日の午前に昂診療所にて嘱託医による往診を行なっている。

往診内容：入所者様の診察、創処置、検査指示、薬の処方、入所者様およびご家族様への病状説明、診療相談・指導、主治医意見書作成、診療情報提供書作成、ワクチン予防接種など。往診日以外に入所者様の体調に変化があった場合は、看護師から嘱託医にすみやかに報告し、嘱託医の指示のもと対処している。

(5) 食事の状況

・食事時間

朝食 7:30～9:00 昼食 12:00～13:30 おやつ 15:00 夕食 17:30～19:00

・食費

朝食、昼食、夕食 = 1,430円（減額有） おやつ = 67円

・食事形態（在籍者数 平成30年3月31日現在 25人）

常食	一口大	ミキサー食	ムース食	経管栄養	メイバランス・ソフトゼリーのみ
9人	10人	0人	3人	2人	2人

・代替食

各入居者の好み等により個別に対応（ごはんorパン食(朝食)、牛乳orヨーグルト、肉禁等）

・栄養年報（平成30年3月31日現在）（※経管栄養の方を除く）

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
給与目標量	1,601Kcal	58.4g	39.6 g	607mg	8.6g
給与栄養量	1,595Kcal	60.3 g	40.0g	593 mg	9.0g

(6) 入浴の状況

(平成30年度 年間実績)

区分	入浴内容	一般浴	特別浴	リフト浴
	利用（入浴）者数		0人	1,634人
1人当たり週回数		週 2 回	週 2 回	週 2 回
実施（曜日）		(月～土曜日)	(月～土曜日)	(月～土曜日)
入浴時間帯		10時00分～16時00分	10時00分～16時00分	10時00分～16時00分
介護員数		1人	2人	1人

(7) 身体拘束の有無

(平成 30 年度 年間実績)

身体拘束の有無	記録の有無	同意の有無	理 由
無	無	無	特になし

(8) 行事・ボランティア活動

(平成 30 年度 年間実績)

月	活動内容
4 月	お花見ドライブ
5 月	鯉のぼりスイーツ作成、
6 月	寿司屋台、尺八ボランティア
7 月	七夕集会
8 月	姥ヶ山諏訪神社大祭
10 月	敬老会、フラメンコ、ボランティア
11 月	紅葉狩りドライブ
12 月	クリスマス会、寿司屋台
1 月	新年会
2 月	節分
3 月	雛祭り

その他、ユニット毎の行事・レクリエーションや個別外出等あり。

(9) 防災訓練実施の状況

全職員に向けて担当区域毎に「火元責任者」を割り振り、毎月「火元責任者自主検査チェック表」のチェック実施を行っている。9月・3月には「構造関係」「避難関係」「電気器具」のチェックを行っている。

また、別に設置している「防火担当責任者」には「防火担当責任者自主点検チェック表」に基づいての確認を指示・実施した。

避難訓練について、10月31日と3月25日に実施している。3月の避難訓練の際に新たに使用しているトランシーバーで、情報の伝達を行ったが普段と違う状況の為漏れなく情報が伝わらず、消防への通報時正しい出火元を伝えることができなかった。

今後は PHS や内線もしくは、直接口頭での情報伝達に重点におき行う。

(10) 運営推進会議の状況

開催日：2ヶ月に1回 第4水曜日 13:30～14:30

構成員：地域住民代表者（自治会長・山潟地区民生委員） 地域包括支援センター  
御利用者様代表 御家族様代表 第三者委員（大学教員） 他施設代表  
当該事業知見者 当該施設代表（施設長） 当該施設職員（介護支援専門員）

内 容：利用者状況報告（入退所状況・入所者変動・空所利用状況等）

事故報告・ひやりはっと件数報告・苦情相談内容報告

サービス活動状況報告・サービスへの要望及び助言

その他 前回懸案事項についての報告・回答

#### 4. 苦情解決体制の整備の状況

(1) 苦情解決の仕組みの周知方法の状況

(平成 30 年度 年間実績)

利用者への周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	① 有 ・ 無	有 ・ ② 無	③ 有 ・ 無	
解決方法の公表方法	事業報告書への掲載		会報等への掲載	その他
	有 ・ ④ 無		有 ・ ⑤ 無	重要事項及び契約書に記載・施設内掲示

(2) 相談受付件数及び概要

(平成 30 年度 年間実績)

要望件数 4 件

- ① 1 日を通しおむつを使用しているが、できれば今後おむつを外すための援助はできるものだろうか。
- ② 朝パン食の方が、排泄の関係等で食事の摂取量が、不足気味の場合は 10 時にパンを食べさせてほしい。
- ③ 入居者様より：リハビリスタッフを前の人に戻してほしいと要望あり。  
(12 月より毎週金曜日に来る機能訓練指導員が変更になった)
- ④ 入院前から食事に偏りがある入居者様が入院され、入院中に殆ど食事以外の好きなおやつを勧めてもらえなかったもので、退院後はできる限り好きなものを食べさせてほしい。

苦情件数 0 件

#### 5. 短期入所生活介護（空床型）事業の状況

(平成 30 年度 年間実績)

・短期入所生活介護（空床型）について

当施設は短期入所生活介護の申請をしている。特別養護老人ホームに入所されている方が、長期入院等、または退所した場合に長期に渡り空床が生じた場合に短期入所生活介護（ショートステイ）として要支援から要介護 5 までの方に一定期間の間、施設サービスをご利用いただくことができる。

・年間実績

入院による空床期間や入所されるまでの空床期間を 1 名の方が短期入所生活介護を利用される。

・問題点

今年度の冬は昨年の大雪の為か短期入所の問い合わせが多かった。しかし、その際は入院している方の退院日程が確定できなかった場合が多く、日程調整できないことが目立った。

・対応策

空床 SS を利用後入所という希望ケースも居宅介護支援事業所に確認した。  
 今後は、居宅介護支援事業所に空床状況も FAX することも検討する。

**6. 待機者の状況**

(平成 30 年度 3 月 31 日現在)

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
人数(人)	1	7	16	17	4	45

\*待機者の現況確認を実施した結果、他の施設に既に入所された方やご逝去された方多かったが近隣に在住の方からの申し込みが増加傾向にあり、居宅の介護支援専門員の元利用者を再度申し込みするというケースも増えてきている。

**7. 職員の資質の向上等人材育成の状況**

(1) 職員会議・委員会等の開催状況

(平成 30 年度 年間実績)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
運営会議	12	0	第一水曜	有・無	所長・管理者・看護師・CM・相談員・管理栄養士・各UL
職員全体会議	12	0	第三水曜	有・無	全職員 所長・管理者・看護師・CM・相談員・管理栄養士・各UL
ユニット会議	36	0	各委員会 定例日	有・無	各ユニット職員
各委員会会議	34	0	各委員会 定例日	有・無	委員会責任者・各委員長 各ユニット担当職員

CM…介護支援専門員、UL…ユニットリーダー

(2) 職員研修の状況

(平成 30 年度 年間実績)

	研修名	実施年月日	対象者	参加人数	内容
施設内研修	おむつ交換講習会	5.16 5.23	全職員	全職員	講義・演習
	法人必須研修(平成 30 年度の介護報酬改定について)	5・17	全職員	8	講義

	研修名	実施年月日	対象者	参加人数	内容
施設内研修	食中毒勉強会	6.13	全職員	全職員	全職員
	ノロウィルス食中毒予防セミナー	11・30	全職員	全職員	講義
	法人研修（接遇セミナー）	8.9	全職員	7	講義
	新人研修（身体拘束防止と虐待）	7・23	新人職員	1	講義
	新人研修（感染予防と緊急時の対応）	7・24	新人職員	1	講義
	法人必須研修（事故防止・再発防止、倫理規定、プライバシー保護、緊急時の対応について）	7.19	全職員	10	講義
	新人研修（感染予防と緊急時の対応）	11・1	新人職員	1	講義
	新人研修（身体拘束・虐待、リスクマネジメント）	11・2	新人職員	1	講義
	高齢者虐待防止に向けた効果的な施設内研修のあり方	12・26	全職員	12	講義
	法人必須研修（認知症ケアについて、身体拘束について、感染予防・蔓延防止について）	12.13	全職員	13	講義
	服薬事故を防ぐ簡単な方法	2・22	全職員	6	講義
	身体拘束せずに事故を防ぐ方法	2.27	全職員	13	講義
	法人発表会	9.27	全職員	12	講義
	HCR 報告会	11.15	対象職員	7	講義
	働きやすい職場の作り方	H31.2.21	全職員	8	講義
	キャリアパス構築支援研修	5.18	管理職等	1	講義 グループワーク
	福祉・介護職員リーダーシップ研修	9.4	介護職員	1	講義 グループワーク
		研修名	実施年月日	対象者	参加人数
施設外研修	新潟県介護支援専門員専門Ⅰ研修	7・17	介護支援専門員	1	講義 グループワーク
		7・18			
7.24					
7.25					
7・26					
口腔保健福祉センター・研修関係業務調整会議	2.13	介護職員	1	講義 グループワーク	

	研修名	実施年月日	対象者	参加人数	内容
	喀痰吸引等研修（第2号研修）	4.18～ 1.8.26	介護職員	4	講義 演習
	H・C・R（国際福祉機器展）	10.11	介護職員・ CM	2	視察
施設外研修	日中おむつゼロ達成報告・基調講演	10.18	施設長 CM 介護職員	3	講演
	プロのターミナルケアⅠ	9.29	CM 介護職員	2	講演
	プロのターミナルケアⅡ	9.30	施設長 介護職員	2	講演
	新潟県ユニットケア研修	10.17	看護・介護 職員	4	講演 グループワーク
	看取りケア研修	10.22	介護職員	1	講演 グループワーク
	ユニットリーダー研修	11.5	介護職員	1	講演 グループワーク
	結核・感染症研修会	11.24	施設長・介 護係長	2	講演
	介護リーダー養成講座	2.27	ユニットリ ーダー	1	講演 グループワーク
	防火・防災管理講習	5.21 5.22	介護職員	1	講演
	給食施設衛生管理指導会	7.24	管理栄養士	1	講演
	記録の書き方研修	8.20	介護職員	1	講演 グループワーク
	にいがた救命サポーター研修	2.20	看護職員 介護職員	2	講義
	ビジネスマナー研修	2.22	介護職員	1	講演 グループワーク

## 8. 建物・設備等の保守点検の状況

・危険な欠損、損傷個所の状況

(平成 30 年度 3 月 31 日現在)

危険箇所・損傷個所	具体的な状況	今後の対応
正面玄関脇扉	公用車のバグの際に観音開きの扉を破損してしまう。	外側は周囲の壁と同様にし、屋内側も同様に周囲の壁と同じにする <b>* 下記写真参照①</b>
リフト浴の器械の座面のストッパー	入居様を座面に乗せて移動する際に、ストッパーの部分が利かない。	リフト浴座面残し、吊り部分のみ交換する。 <b>* 下記写真参照②</b>
居室の換気扇、ホールのエアコンクリーニング	居室の換気扇は異常音がしておりクリーニングして正常に作動するようにする。	日の丸商会よりユニットのホールのエアコンと居室のクリーニングを実施する。



写真① 正面玄関



写真② リフト浴

## 9. 平成 30 年度社会福祉法人等指導監査及び実地指導について

平成 31 年 3 月 13 日（水） 9：30～16：45 実施される。

施設としての主な指摘事項は、

- ・施設の掲示物としての重要事項説明書に緊急時の対応を追加してください。
- ・夜勤の体制について夜間帯 21 時から翌 7 時までの間、2 名体制になっており、防火管理担当として宿直者か夜勤者を追加して配置する体制を整えてください。
- ・来年度より洪水時の避難訓練、新たに防火教育と訓練の実施が追加されたので実施してください。
- ・必要時に風水害のマニュアルの見直しを行ってください。

書面による結果通知は 6 月頃となっている。